

原発からすみやかな撤退を 区独自の放射線量測定実現

日本共産党

大田区議団

ニュース

日本共産党大田区議団
 大田区蒲田5-13-14
 TEL 03-5744-1477
 FAX 03-3730-3447
 E-mail kugidan@jcp-ota.jp
 ご意見、ご要望をお寄せ下さい。



「原発のすみやかな撤退を」と署名・宣伝する党区議団(21日蒲田駅東口)

小・中学校、保育園等で実施 区民の世論と運動で実現

日本共産党区議団は、東日本大震災の発生翌日から3度にわたって区長に対し震災にかんする緊急要望を行い、

てきました。



区内全ての区立小中学校・区立保育園、一部の区立公園、区営プールの計161ヶ所について、準備が整い次第測定を開始すると発表しました。

震災と原発事故を体験した区民は、開発優先でなく、国民的助け合いとともに命と防災を基本とし、やさしい環境を目指す区政を求めはじめています。

原子力災害などについて正確な情報収集と独自に放射線量を測定し、区民への確かな情報の提供することなどを求め

また6月1日(水)には教育委員会に対しても学校のプール授業にかんして放射能の測定を行うことなどを求めてきました。

安心安全の防災計画の見直し、津波対策は国や都の動向を待たず積極的に計画を進めること、また、荏原製作所跡を購入したヤマト運輸との緊急避難場所の協定について今後の動向を見て取り決めた

6月6日には、日本共産党区議団は自ら購入した測定器で、公園などを独自に測定(右側写真)し、数値を公表しました。

このような中で、大田区は15日、独自に区内3ヶ所で放射線量の測定を行い、17日には採択となりました。

区議選中に公約した75歳からの医療費無料化の実現を求めました。区長は「無料化は国が実施すべき。区は実施しない」と答弁。

いのち暮らし環境守る区政へ 代表質問 藤原議員

日本共産党区議団は防災対策の抜本的見直しと区民のいのちと暮らし・暮らしを守る積極的提案を示し実現を求めました。



「経営革新緊急支援事業の継続でがんばろう」「大田区商品券四回目発行」を求めましたが、「考えていない」と区民の声を無視する答弁に終始しました。

区政とくらしの相談はお気軽に

<p>藤原 幸雄 大田区西糀谷4-21-17 電話 三七四二二一九三六</p>	<p>大竹 辰治 大田区西蒲田5-9-12 電話 三七三五一二六一</p>	<p>和田 正子 大田区多摩川2-24-62-27 電話 三七五九一六五七九</p>	<p>すがや 郁恵 大田区大森西5-6-11 電話 三七六八一五八四四</p>	<p>黒沼 良光 大田区南蒲田2-19-7 電話 三七三五一六四六七</p>	<p>金子 悦子 大田区西六郷2-16-12 電話 五七一〇一〇三五〇</p>	<p>清水 菊美 大田区大森東4-34-17 電話 三七六六一二六三〇</p>	<p>佐藤 伸 大田区大森北5-5-5 電話 三三九八一六三三二</p>	<p>福井りょうじ 大田区東雪谷3-19-15 電話 三七二八一八二二五</p>
--	--	---	--	---	--	--	---	---

法律相談のご案内
 区議団顧問弁護士による、法律相談です。お気軽にご利用ください。

7月 7日(木) 午後1時より
7月21日(木) 午後1時より

場所 日本共産党大田区議団控室
 (大田区役所10階) TEL5744-1477
 ◎予約制です。お早めにお電話下さい。

保育園待機児ゼロへ(初質問)

福井亮二議員



「認可保育園の増設で待機児ゼロに」を求めたのは共産党区議団福井議員だけでした。現在、認可保育園2園が建設中です。

認証保育料へ助成・安心できる老後を

高額な認証保育所の保育料が生活を圧迫しています。0歳児の平均保育料は6万7千円です。保育料の助成の拡充を求めましたが、区は「現在の助成で軽

防災計画の抜本的見直しを

黒沼良光議員



待機者の避難先・蒲田総合病院存続を黒沼議員の特養ホーム待機者の避難先の計画

減が図られている」との冷たい答弁。

特養ホームの待機者は一六〇〇名を超えます。特養ホームと認知症グループホームの増設を求めました。区は「民間事業者を支援する」と繰り返すだけで区の責任を果たさそうとしません。

駅前駐輪場の設置を

駅前での交通事故が起きている実態などを示し、久が原・御嶽山駅前に駐輪場設置を求めました。「重要な課題として位置づけ検討していく」と答弁しました。

原発からの撤退・放射線量測定を

「原発推進からの撤退自然エネルギー推進を国に求め、区も独自に努力すべき」との質問に「再生可能エネルギーの普及は重要。太陽光発電システム設置の補

海外視察の名前変えて実施 海外視察が自由自在にいける？



区議会最終日20日の議会運営委員会で、区議会議員の海外視察の要綱を廃止し、親善訪問調査に変更することが、自民、公明、民主

助金交付事業など普及を促進する」と答弁。

「保育園、学校など子ども関係の施設を加え実施を」には、「東工大を含め4地点で測定し、区が緊急的・補完的に東工大の協力を得て実施する」と答弁。

訪問には自民、公明、民主はほぼ毎年のように行き、予算をほぼ全額使って親善訪問とは無関係の都市にも視察に行っていました。

今後は、無駄遣いの批判を避けるために親善訪問調査と名を変え、細かく事業を拡充することが必要であり、一

て続けようとするものです。

わかばの家・大田体育館は 区が責任を持って管理・運営を

第2回定例会には、利用者申し込みが多い子ども発達センターわかばの家を、一部業務委託するための予算が入っています。

委託によってサービスが拡充すると言いつつ、その保証である一部業務委託後の人数や体制など具体的に示していません。区が責任を持ってさらにきめ細かく事業を拡充することが必要であり、一

けに「税金の無駄遣いだ、自分の金で行け」と怒りの声も出ました。

さらに、来年6月開館予定の大田区総合体育館について、利潤追求を目的とする民間大企業を指定管理者にする提案がありました。構成企業は住友不動産(株)、(株)JT B法人東京、



大田体育館完成図

怒りの声殺到 国保の大幅値上げ

大田区の国民健康保険料の納入通知書が発送され、20日から大田区の窓口は、問い合わせの訪問や電話で混雑しています。

「昨年より2倍になった、年金は減っているのに！」「去年と収入は同じなのになぜあがったのか」という問い合わせ



・Mさんの場合
年金生活のMさん、夫婦と障害を抱える息子さん(37歳)の3人世帯です。

・前年度	9万9880円
・今年度	14万3348円
	1.44倍
・3年後(経過措置後)	18万380円
	1.81倍
・息子さんの介護保険含む 3年後に40歳になるので	20万7387円
	2.08倍

今回大幅な値上げを上げとなります。さらには、3年後には軽減措置がなくなり更なる値上げとなります。